

XAGJAPAN 社(XAG)は、6/10 より農業用無人車 R150 の販売を開始しましたが、当社の準備が整い、8 月よりデモンストレーション活動を開始いたしました。

R150 は、液体の噴霧、粒剤の散布、草刈り、運搬と、多用途に使える車両です。

作業ごとに機械を揃える必要がなく、初期投資を大幅に削減できます。ただ、現状では液剤散布・運搬のみの機能となっており、主に液剤散布での実演を行っております。

R150 の運転は、自動走行はスマートフォン、手動走行は ACS2(コントローラー)で行います。スマートフォンでは、アプリにより自動的にルートを生じ、その通りに走行します。田畑の肥料散布、薬剤防除、収穫物の運搬、農道畦畔の除草、灌水等々広範囲にご使用いただけます。

まずは、もも、かき、たらのきに、より効率的な噴霧・走行方法の検討を行っています。R150 の能力にのみ頼って効率的に噴霧することは不可能であると感じました。R150 の持つ能力を把握したうえで走行場所・噴霧口の選択、風量・吐出量・噴霧角度・作物・植栽方法等様々な条件を加味した上で噴霧方法を決定する必要があります。

当社では、農薬販売で培ったノウハウや農薬メーカー様のご協力を得ながら最適な方法をオーダーメイドで検討いたしますので、ご興味のある方はぜひバイタルグリーンへお問い合わせ下さい。

農業用無人車 R150
販売ははじめました

デモ・見学会
随時開催



もも にデモ散布



たらのき にデモ散布

R150 3つのポイント

①スマホで自動走行 ドローン同様スマートフォンで自動走行を行えます。



ACS2 で手動で走行させることもできるので場面に応じて使い分けができます。

②無人で走行 R150 は無人で走行することから、農薬の曝露がありません。また、転倒・転落等の事故の際、運転者への被害が極めて少なくなります。

労働安全の面でも無人走行をする R150 はメリットが大きいと考えます。

③4 種の機能(予定) R150 は噴霧だけではなく、運搬、粒剤(予定)、草刈り(予定)と多用途に使えます。単一の機械には能力面で R150 は劣りますが、導入コストを抑えられ、運搬・収納・メンテナンス等々の手間が少なく、コストパフォーマンスに優れています。

R150 JetSprayer 噴口は 2 種類

R150 の噴霧装置「JetSprayer」は、通常の噴口と別売りの拡散用噴口の 2 種類ございます。

通常の噴口は直線的に噴霧をする形状となっており、片側 6m 程度(左右両方で 12m)の散布幅となります。別売りの拡散用噴口にすると、より広角に噴霧され、噴口に近い作物にも優しく面的に散布ができるようになっています。

「JetSprayer」は、直接作物に向けて噴霧をする点でスピードスプレーヤーと異なります。農薬の散布量が減らせる(登録の範囲内で)可能性もあります。



(左)通常 (右)拡散



(左)拡散 (右)通常

バッテリー・RTKはドローン用が使える

バッテリーや充電器、RTK 固定局、端末(スマホ)は XAG 社ドローンをお持ちの方は兼用できます。

車両と ACS2 のみで R150 を導入できますので初期導入費用が大幅に軽減できます。



バッテリー



RTK 固定局

教習は標準 3 日間

ドローンとは違いラジコンカーの類の R150 ですが、教習が必要です。これは、「農業機械の自動走行に関する安全性確保ガイドライン(令和3年3月 26 日付け農林水産省生産局長通知)」に基づき実施するものです。また、試験に合格すると認定証・ID が XAG より発行され操縦することができるようになります。無人が故、安全走行のためご理解くだされいますようお願いいたします。

農業用無人車 R150 標準販売例

*商品の仕様は予告なく変更することがあります。スマホ・SIM は付属しません。ご自身でご準備ください。
SIM は指定業者以外のものでは動作しません。

ドローンレポートを

ご希望の方は

【無料】でお送り

いたします。

当社営業担当者または、
営業部025-211-8520

(平日8:30~17:30)、
e-mailは、sakamoto(at)
vitalgreen.co.jp まで宜し
くお願い致します(at は@。迷惑メ
ール防止のため変えています)。

充電器も新登場

【急速充電器(発電機)GC400】
新型充電器を約 11 分/本で充電する
発電機。素早く充電が完了するな
バッテリーの初期導入コストを
とができます。

R150 本体

RTK 基地局

充電器

充電器 2 個

荷台

R150、トヨタハイエース
に乗せてみた

右の写真はトヨタハイエース
(標準フロア)に乗せたときの
写真です。タイヤハウスがあり
ますが、左右各 3.5cm 程度の
空きができますので問題なく運搬できます。旧型ボンゴ
(パネット)の場合は、1cm 程度しか空かないので、難
度がさらに上がります。
また、軽トラにも乗せ
ことはできませんので、道路を横断したいときは自動車
にて移動させたいです。
なお、アルミ製の R150 は 3.5cm の使用
です。

R150 を乗せたトヨタハイエースの確保
保で、タイヤハウスからわずかし
か空かないように見えますが、十分の空
きです(下)。

RTK 基地局

上越に設置準備進む

本年中に設置を目指す

RTK 基地局は、建物等に設置する固定式で、電波の干渉が少なく、位置精度がこれまで以上に高くなり、作業効率が格段に上がります。

このたび、上越エリアに RTK 基地局を設置することが決定し、その準備を進めておられます。通信距離は 30km を超えていますが、実用的には糸魚川市や津南町までカバーできるのではないかと見えます。ただし、距離を保証するものではありません。

これまで、上越市や津南町に RTK 基地局を設置して、作業効率を向上させている地域があります。

このたび、上越市や津南町に RTK 基地局を設置することが決定し、その準備を進めておられます。通信距離は 30km を超えていますが、実用的には糸魚川市や津南町までカバーできるのではないかと見えます。ただし、距離を保証するものではありません。

このたび、上越市や津南町に RTK 基地局を設置することが決定し、その準備を進めておられます。通信距離は 30km を超えていますが、実用的には糸魚川市や津南町までカバーできるのではないかと見えます。ただし、距離を保証するものではありません。

このたび、上越市や津南町に RTK 基地局を設置することが決定し、その準備を進めておられます。通信距離は 30km を超えていますが、実用的には糸魚川市や津南町までカバーできるのではないかと見えます。ただし、距離を保証するものではありません。

このたび、上越市や津南町に RTK 基地局を設置することが決定し、その準備を進めておられます。通信距離は 30km を超えていますが、実用的には糸魚川市や津南町までカバーできるのではないかと見えます。ただし、距離を保証するものではありません。

このたび、上越市や津南町に RTK 基地局を設置することが決定し、その準備を進めておられます。通信距離は 30km を超えていますが、実用的には糸魚川市や津南町までカバーできるのではないかと見えます。ただし、距離を保証するものではありません。

新しくなりましたよ

SoraNavi.

P30 2020版 数量限定販売

ドローン 完全手動に対応！

ドローンレポートを ご希望の方は 【無料】でお送り いたします。

当社営業担当者または、
営業部025-211-8520
(平日8:30~17:30)、
e-mailは、sakamoto(at)
vitalgreen.co.jp まで宜し
くお願い致します(atは@。迷惑メ
ール防止のため変えています)。

YouTube

XAG R150
動画をチェック



ドローン P30 デモフライト
受付中！！直播・水稲除草剤・
穂肥・防除と多用途に使えます



XAGJAPAN(兵庫県小野市)は、10月13日～15日に行われた「農業 Week 国際スマート農業 EXPO」(会場:幕張メッセ)に出展し、P30の後継機であるP40、2枚のプロペラでダウンウォッシュが強いV40、R150(農業用無人車)など新製品を発表しました。

ドローンレポートを ご希望の方は 【無料】でお送り いたします。

P40はP30の後継機で4枚羽のドローンです。液剤20L搭載可能になっており、カメシ剤であれば2.5ha分が1タンクに収まります。V40は、2枚羽のドローンで、液剤16L、粒剤10kgの搭載が可能です。アームは折りたたみ式で運搬しやすいです。2枚羽ゆえ、ダウンウォッシュの力が強く、草刈りにくいという点があります。

新型バッテリーは(写真下の中央のバッテリー)防水であり、専用充電機で高速充電します。すべての製品で現在のところ販売の予定が公表されていません。

(左から)新型バッテリー(中央)、粒剤散布装置(2枚)、ドローンで測量が可能。粒剤散布装置はらせん状に繰り出し、詰まりが起きにくい印象。

当社営業担当者または、
営業部025-211-8520
(平日8:30~17:30)、
e-mailは、sakamoto(at)
vitalgreen.co.jp まで宜しく
お願い致します(atは@。迷惑メ
ール防止のため変えています)。

ドローン担当坂元より R150が先発開始となりました。世界初の農業機械ということもあり、手探りの状況で動いております。様々な場所でいろいろな可能性を見つけていきたいと思っておりますので、試験走行・散布のご要望を頂きますようよろしくお願いいたします。

次回発行は来年1月を予定しています

【XAG 社製品に関するお問い合わせは…】

当社営業担当者または、本社営業部025-211-8520(担当:坂元;平日8:30~17:30)、e-mailは、sakamoto@vitalgreen.co.jp まで宜しくお願い致します。